



ご挨拶

応用地質株式会社  
代表取締役社長

成田 賢

東日本大震災において被災された皆様、関係各位に心よりお見舞いを申し上げます。また、被災地の復旧・復興活動に従事されている皆様に心より敬意を表します。

さて、弊社では来る10月13日(木)・14日(金)に、第38回OYO展を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

今回のOYO展は、「巨大地震の脅威に備える」をテーマに企画いたしました。3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、複合的で甚大な被害を広域に発生させ、国内の社会資本ならびにサプライチェーンに大きな影響を与えました。その影響は、国内経済のみならず世界経済にも及んでおります。

このような未曾有の被害を受けた我が国の社会や企業は、自然災害リスクが存在する国土で持続可能な活動を進めることが求められています。

今回のOYO展では、今後も巨大地震の発生が懸念される我が国において、社会や企業の持続可能な活動を支援するサービス・製品を紹介させていただきます。

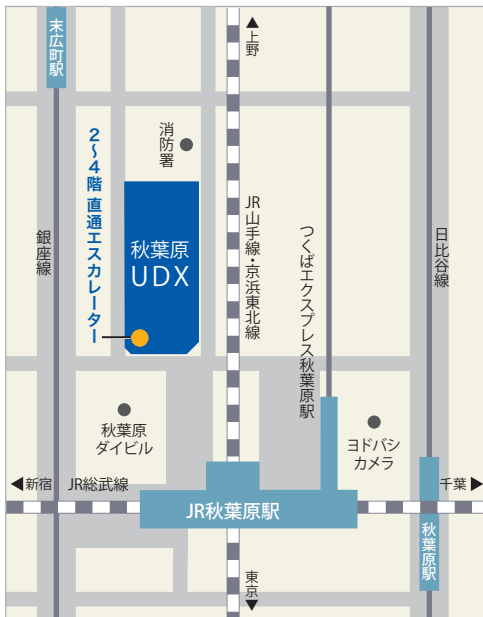
ご来場の際には、忌憚のないご意見やご助言を賜れば幸甚です。お忙しい中恐縮ですが、万障繰り合わせの上、ご来場賜りますようお願いしております。

最後になりましたが、被災された地域の早期の復旧・復興を祈念しております。

## 会場アクセス

秋葉原UDX 千代田区外神田4-14-1

4階のUDXギャラリーの受付にお越しください。



- JR秋葉原駅「電気街口」より徒歩2分
- つくばエクスプレス秋葉原駅「A3出口」より徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線秋葉原駅「2番出口」より徒歩4分
- 東京メトロ銀座線末広町駅「1番または3番出口」より徒歩3分

- セミナー座席数は十分余裕を持ってご用意させていただいておりますが、満席となりましたら、ご入場いただけない場合があります。あらかじめご了承ください。

### 【お問い合わせ先】

応用地質株式会社 東京支店  
TEL : 03-6383-2380(代)  
E-mail : prosight@oyonet.oyo.co.jp  
担当 : 第38回OYO展事務局 菅原、星田

# 第38回 OYO展

ご招待状



## 巨大地震の脅威に備える

- と き : 10月13日(木) AM 10:00 ~ PM 6:00  
10月14日(金) AM 10:00 ~ PM 5:00
- ところ : 秋葉原UDXギャラリー
- 内容 : 技術セミナーおよび展示

入場無料  
粗品進呈

応用地質株式会社

URL <http://www.oyo.co.jp/>

## 展示内容

### ■巨大地震の脅威

- ・東日本大震災
- ・首都直下地震、東海・東南海・南海地震の脅威
- ・地震動による被害を予測する
- ・津波による被害を予測する
- ・地震災害を軽減する

### ■液状化を予測する技術

- ・液状化はなぜ起こるのか
- ・液状化を予測する
- ・液状化被害を軽減する

### ■災害発生後の復旧・復興を支援する技術

- ・非破壊で地中を探る
- ・ライフラインの復旧
- ・建築物耐震性能を非破壊で診る
- ・事業継続のための地震対策
- ・地震災害に強いクラウドシステム
- ・地震リスクマネジメント
- ・あなたの住宅は大丈夫ですか
- ・津波被災地の環境評価

### ■将来の地震を予測する技術

- ・陸上の地断層を知る
- ・海底の地断層を知る
- ・過去の津波から将来を予測する

### ■機器コーナー

- ・販売機器
- ・レンタル機器



## 技術セミナーの講演内容

10月13日(木)

10/13 10:40~11:00 / 15:30~15:50

### 非破壊で探るライフライン被害 ー減災に向けた調査方法の提案ー

講演者: 応用地質(株) 松山 明男



東日本大震災は道路、上下水などのライフラインに甚大な被害をもたらしました。ライフラインの本格的な復旧には、目に見える被害のほか、地盤の緩みや空洞化、管路の変状などを把握することが大変重要です。ライフラインの減災に向けて、非破壊で探ったライフライン被害の実態とその特徴についてお話します。

10/13 11:40~12:00 / 16:30~16:50

### 緊急地震速報の活用技術 ー賢く使おう緊急地震速報ー

講演者: 応用地震計測(株) 梶原 透



未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震では、緊急地震速報の仕組みのあり方にも多大な影響を及ぼしました。東海・東南海・南海地震など東北地方太平洋沖地震に匹敵する規模の地震の発生が危惧される中、いかに緊急地震速報を活用すればよいかについてお話します。

10/13 13:00~13:45

### 東北地方太平洋沖地震の実像と将来の巨大地震への 備え

講演者: 応用地質(株) 鈴木 晴彦



マグニチュード9の地震、遡上高さ30m以上の津波という未曾有の現象は、どこまで 解明されているのか、また、その教訓は、日本周辺で近い将来にほぼ確実に発生する巨大地震・津波への対策にどう生かされるのか、最新の情報をも とにお話します。

10/13 14:00~14:45

### 首都圏を襲った液状化 ー地盤からみた液状化被害とその 対策ー

講演者: 応用地質(株) 吉澤 大造



東日本を襲ったM9.0地震では、首都圏においても想定外と言える液状化被害が発生 しました。被害の多くは戸建住宅とライフライン等で、液状化が地表面付近に影響を及ぼした現象は噴水・噴砂、クラック、不同沈下でした。しかし被害は、広範囲にわたり都市機能の脆弱性を露呈することになりました。今回の想定外の教訓を基に、地盤からみた液状化への備え、対策、さらにはそのための調査技術についてお話します。

10月14日(金)

10/14 10:40~11:00 / 15:30~15:50

### 企業の地震リスクマネジメント(1) ー地震リスクの見える化ー

講演者: 応用アール・エム・エス(株) 戸梶 武



東北地方太平洋沖地震は多くの人命を奪っただけではなく、企業活動や社会経済にも大きな影響を与えました。地震の影響を企業活動や社会経済の観点から整理するとともに、こうしたリスクを事前に把握し備えるための「見える化」の技術とその適用事例についてお話します。

10/14 11:40~12:00 / 16:30~16:50

### 企業の地震リスクマネジメント(2) ー事業継続のための地震対策ー

講演者: (株)イー・アール・エス 若林 亮



東北地方太平洋沖地震により、震源から離れた首都圏においても、天井の落下など非構造部材の被害が発生し、改めて地震リスクに対する備えの重要性が認識されました。建築物を中心とした被害事例を紹介するとともに、事業継続のための効果的な地震対策のポイントについてお話します。

10/14 13:00~13:45

### 備え



10/14 14:00~14:45

### 対策

